



- 東日本大震災は、私たちにコミュニティの大切さを一層認識させ、これまでの暮らし方や大量生産・消費構造の見直し等成長路線を改めて考える契機をもたらしました。
- 日本の各地において、生活空間の裏山・里山を巧みに利用する森の文化があり、多様で豊かな食文化が培われてきました。人間が生きていく絶対条件であるにもかかわらず、現代社会ではおぼろげにされがちな「食」を切り口に、日本に根付く森林との共生文化の継承と再生、そして、文化と経済と環境が結合する森林の新たな価値の創造について、どのような展望が描けるでしょうか。
- 人間の生活に根ざすローカルな単位とそこで培われた暮らしや生産システムを再考し、自然資源と生命とのかかわりの原点でもある「食」を通じて、縮小・高齢化社会における山村問題、森林管理問題を議論してみたいと思います。今回のシンポジウムでは、ルネサンスシリーズ第四弾として、「食」の面から森林と付き合い、新しい山の業（なりわい）を創り、楽しみ、活かしている魅力的な演者とともに、上記について考えます。



(写真提供:石崎英治氏、矢房孝広氏)

## 国土緑化推進機構助成シンポジウム

# もり 森林と食のルネサンス なりわい —創る・楽しむ・活かす 新たな山の業—

前半

13:30～15:10

● 特用林産と森林社会

● ニホンミツバチの蜜の再生産と森林資源

● 獣害対策と食文化の復興



齋藤 暖生 氏  
東京大学  
助教



村井 保 氏  
宇都宮大学  
教授



石崎 英治 氏  
NPO法人伝統肉協会  
理事長

日時

平成 10月11日(土)  
26年 開場:13:00/開演:13:30

場所

東京大学弥生講堂  
一条ホール  
地下鉄南北線「東大前」徒歩1分

入場無料

どなたでも参加できます。

主催

「森林・林業・山村問題を考える」シンポジウム  
実行委員会

後援

林野庁、(独)森林総合研究所、全国森林組合連合会、全国山村振興連盟、(一社)全国木材組合連合会、(一社)全国林業改良普及協会、住友林業(株)、NPO法人自然環境復元協会、(公社)大日本山林会、(一財)地球・人間環境フォーラム、(公財)日本自然保護協会、(一社)日本森林技術協会、(一財)日本森林林業振興会、日本ジビエ振興協議会、(一社)日本特用林産振興会、(一財)日本木材総合情報センター、(一社)日本養蜂協会、(一財)日本緑化センター、(一財)日本林業経営者協会、(株)日本林業調査会、(一社)日本林業土木協会連合会、林業経済学会

後半 15:20～18:00

(パネルディスカッション 16:20～17:50)

● 過疎・高齢社会と食起業

● 森林の恵みが都会の食を潤す

パネルディスカッション  
座長

関岡 東生 氏  
東京農業大学  
准教授



加藤 トキ子 氏  
谷口がっこそば  
スタッフ代表



矢房 孝広 氏  
宮崎県諸塚村産業課長  
ウッドピア諸塚理事



事務局・お問い合わせ

一般財団法人 林業経済研究所 TEL:03-6379-5015

〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-6 高関ビル3A office@foeri.org http://www.rinkeiken.org/

## 報告者・座長紹介

### 齋藤 暖生(さいとう なるお)氏

東京大学大学院農学生命科学研究科  
附属演習林助教



- 1978年岩手県生まれ。京都大学大学院農学研究科博士課程修了
- アンズがあるくらいがちょうどいい、山の恵みの活かし方。環境、技術、社会の変化から、山菜・きのこについて考えます。
- 学生時代からの研究対象は「山菜・きのこ採り」。子供時代の経験を手掛かりに「山の豊かさ」を考えようと思ったのが研究の原点です。

### 村井 保(むらい たもつ)氏

宇都宮大学農学部教授



- 1949年大阪市生まれ。
- 農業害虫防除に関する研究、とりわけ環境に負荷の少ない防除技術の開発に取り組んできました。害虫のほか、施設園芸で不可欠なミツバチの効率的な利用に関しても取り組んでいます。
- ミツバチの蜜源植物の植栽を通して、森の恵みを安定的に確保し、様々な食に利用できればと思っています。

### 石崎 英治(いしざき ひではる)氏

NPO法人 伝統肉協会理事長



- 1978年兵庫県生まれ。2003年北海道大学大学院農学研究科修了、2010年株式会社クイズ設立、エゾシカフェ開店、2012年特定非営利活動法人伝統肉協会設立、同理事長就任
- 日本の食文化である野生鳥獣料理と獣害対策、ジビエレストラン経営者の立場から問題点を提起します。

### 矢房 孝広(やぶさ たかひろ)氏

宮崎県諸塚村産業課長  
兼(一社)ウッドピア諸塚理事



- 1962年宮崎県諸塚村生まれ。
- 九州大学建築学科卒業後、東京、大阪で建築設計事務所勤務。1995年にUターンし諸塚村役場入庁。諸塚村産直住宅事業、FSC森林認証取得、都市山村交流事業、地域資源開発などに尽力。エコミュージアムもろつか館長、(一社)諸塚村観光協会事務局長、同常務理事を経て、2012年から現職。一級建築士。森林インストラクター。

### 加藤 トキ子(かとう ときこ)氏

NPO法人四季の学校・谷口(谷口がっこそばスタッフ代表)

- 1940年山形県真室川町生まれ。22歳で金山町に嫁ぐ。クロカンスキー、パレーポール等で活躍、綱引き全国大会に出場。
- 金山町食生活改善協議会会長、JA金山女性部部长、谷口がっこそばスタッフ代表
- 和牛繁殖一貫経営、稲作10ha。夫と長男夫婦、孫2人の6人家族
- 元気なお母さん方が、ガッコそばで皆さんをお待ちしています。



### 関岡 東生(せきおか なるお)氏

東京農業大学地域環境科学部准教授



- 1965年東京都生まれ。東京農業大学大学院修了後現職。専門は森林教育学・森林政策学
- 各地の農山村振興にかかわり、森林と人々を繋ぐ仕事に従事、くいしんぼう代表。

## プログラム

- 13:00受付開始  
13:30-13:40 開会の挨拶(シンポジウム実行委員長)
- 13:40-14:10 第1報告 齋藤 暖生 氏(東京大学助教)  
「特用林産と森林社会—山菜・きのこの今日」
- 14:10-14:40 第2報告 村井 保 氏(宇都宮大学教授)  
「ニホンミツバチの蜜の再生産と森林資源」
- 14:40-15:10 第3報告 石崎 英治 氏(NPO法人 伝統肉協会理事長)  
「獣害対策と食文化の復興—ジビエレストラン経営から」  
休憩
- 15:20-15:50 第4報告 加藤 トキ子 氏(谷口がっこそばスタッフ代表)  
「過疎・高齢社会と食起業—谷口がっこそばと母さんパワー」
- 15:50-16:20 第5報告 矢房 孝広 氏  
(宮崎県諸塚村産業課長・ウッドピア諸塚理事)  
「森林の恵みが都会の食を潤す—山村からのパラダイム・シフト」  
パネルディスカッション  
座長 関岡 東生 氏(東京農業大学准教授)
- 17:50-17:55: 閉会の挨拶(林業経済研究所)
- 18:00-20:00: 懇親会(弥生講堂アネックス) お気軽にご参加ください。  
演者からの提供による食材(山の幸・ジビエ等)で立食にて行います。

## 会場地図



どなたでもお気軽にご参加ください。

「森林・林業・山村問題を考える」シンポジウム実行委員会  
:土屋 俊幸/飯沼 佐代子/大塚生美/関 良基  
/永田 信/ 安村 直樹/山本 美穂  
会場・運営協力:東京大学林政学研究室

事務局・  
お問い合わせ

一般財団法人 林業経済研究所

〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-6 高関ビル3A TEL:03-6379-5015

office@foeri.org http://www.rinkeiken.org/

(再生紙100%使用)